

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	好酸球増多性皮膚疾患における Eosinophil extracellular traps (EETs) の関与
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
<p>2000年4月1日～2022年10月31日に新潟大学医歯学総合病院皮膚科で薬剤性過敏症症候群、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、蕁麻疹様血管炎と最終診断された方。</p> <p>「重症薬疹の病態解明及び発症予測、重症度予測マーカーの検索、新規治療薬の開発(2019-0403)」皮膚生検を施行している方の皮膚組織、保存血清を用いさせていただきます。また、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、蕁麻疹様血管炎と最終診断された方の組織標本を使用させていただきます。</p> <p>対象期間は倫理委員会承認日から2027年3月31日です。</p> <ul style="list-style-type: none">• 薬剤性過敏症症候群患者 25名• 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症患者 5名• 蕁麻疹様血管炎 10名	
③概要	
<p>好酸球は血液の中にある白血球の1種でウイルスや寄生虫などを破壊する役割があります。一方で、アトピー性皮膚炎や喘息などのアレルギー性疾患では好酸球が増加します。アレルギー疾患の一部では炎症組織においては好酸球の細胞崩壊像がみられることが知られています。しかし、全ての好酸球が増加している疾患で明らかになっていないのが現状です。</p> <p>この細胞崩壊は細胞外に網状のDNA線維(extracellular traps)というものを放出し、EETosis (Eosinophil extracellular trap cell death)と呼ばれています。</p> <p>一方で、白血球の一種である好中球においても様々な疾患において同様の細胞の破壊が起こり、NETosis (Neutrophil extracellular trap cell death)と呼ばれています。</p> <p>近年、重症薬疹においてNETosisが関与することが明らかになりました。一方で、薬疹では皮膚組織内に好酸球浸潤を伴うことが多いですが、薬疹におけるEETosisの関与については明らかになっていません。</p> <p>よって、本研究では薬疹の中でも特に好酸球増多と関わりのある薬剤性過敏症症候群におけるEETosisの関与を明らかにすることを目的としています。また、薬剤性過敏症症候群だけでなく、皮膚組織に多くの好酸球がみられる好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、蕁麻疹様血管炎におけるEETosisの関与も検討します。</p> <p>EETosisは好酸球性疾患における炎症の増強、遷延化に関与することが明らかになっていること</p>	

<p>から、皮膚疾患における EETs の関与を検討する臨床意義は大きく、疾患の新たな機序の解明や治療法の開発につながる可能性があります。</p>	
④申請番号	
⑤研究の目的・意義	<p>当院で採取した皮膚生検組織検体、血清を用いて好酸球増多性皮膚疾患の EETosis の関与を明らかにすることで様々な疾患の発症機序の解明、治療法の開発につながる可能性があります。</p>
⑥研究期間	<p>倫理審査委員会承認日から 2027 年 3 月 31 日まで</p>
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	<p>該当患者の組織標本、保存血清を利用させていただきます。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。</p>
⑧利用または提供する情報の項目	<p>病歴（年齢、性別、治療内容、経過）、組織検査結果、血液検査データ、皮膚組織標本、血清</p>
⑨利用する者の範囲	<p>新潟大学 皮膚科 林 良太、Elena Borzova、勝見達也、武居慎吾、安齋 理、阿部理一郎</p>
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	<p>新潟大学 皮膚科 林 良太</p>
⑪お問い合わせ先	<p>所属：新潟大学 皮膚科 氏名：林 良太 Tel：025-227-2282 E-mail：rh19840629@med.niigata-u.ac.jp</p>